

通信・ITネットワークの分野では、日々新しい技術が開発され、より効率的で、より安価なサービスが次々と生み出されています。知らないことは、イコール企業利益の損失です。そこで私たち大和電設工業は、情報通信やITソリューションの『知って得する最新情報』を、お世話になっている皆様に定期的にお伝えしていきます。隔月発刊のDDK通信、ぜひお楽しみください。

～ 無線LANエリアで利用できるトランシーバー ～

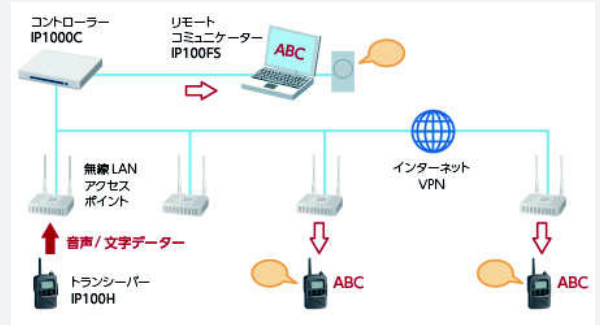
■ 無線LANトランシーバーとは

LAN上で動作する無線LANトランシーバーシステムは、既存の無線LAN環境で自在に通話できるシステムです。

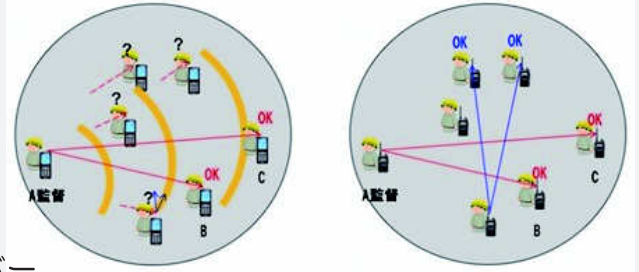
無線LANでは今までインターネットなど情報通信でしか使われていませんでしたが、容易に通話でも活用する事が可能となります。

また、無線トランシーバーでは交互でしか通話できませんでしたが、電話のように相互に通話ができる様になり、さらにはアナログ無線電波の届きにくかった場所にも無線LANのアンテナを増やすことで容易に通話可能エリアを広める事が可能となります。

IPならではのクリアな音質で、電話のように同時に送受信できるほか、複数のグループ間で同時に交信できるといったアナログトランシーバーにはない機能もたくさんあります。連続送信規制がなく、免許・申請・電波利用料が不要なことも特徴です。



アナログ・トランシーバー 無線LANトランシーバー



■ コミュニケーションが広がる無線LANトランシーバー

ホテル（ 広範囲で情報共有 ）



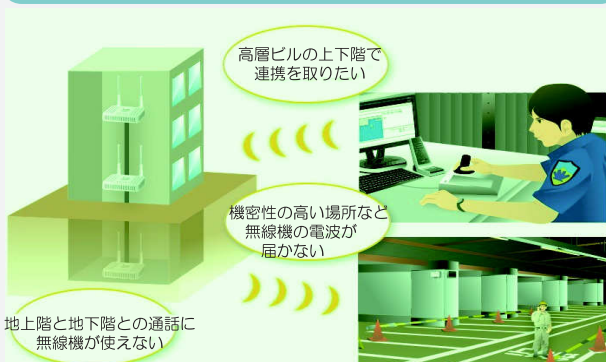
ホテルなど広い範囲にいるスタッフに一齐に同じ情報を連絡。または、特定のスタッフやエリアを指定して送信することもできる確かな指示が迅速に送れます。

倉庫（ 容易な連絡手段 ）



無線機と異なり、作業の進行を電話で話すようにリアルタイムに同時通話する事が可能となり情報の共有化が容易になります。

ビルの警備（ 不感地帯を解消 ）



地下と地上など、従来の無線機で通話が難しかった場所でも、LAN経由だからスムーズに通話できます。上下階を移動しても、チャンネル操作は不要です。

飲食店（ 連携を密に ）



同時に双方向通話が可能となり、又、スタッフが何処に居ても連絡が密に行えます。お客様の食事の進行に合わせて料理の支度を行ったり、広い店内の空席状況を把握して速やかにお客様の誘導が可能となります。